

FSCジャパン
(NPO法人 日本森林管理協議会内)



©1996 Forest Stewardship Council A.C. FSC-SECR-0117

FSC国際本部から正式に承認された、日本の窓口となる組織です。日本国内で、FSC森林認証制度そのものの普及・推進を行うと同時に、日本を対象とした基準の検討と作成をおこないます。FSCに関するお問い合わせ、FSCの普及・推進へ向けて提案などございましたら、こちらへご連絡ください。

ホームページ：<http://www.forsta.or.jp/fsc>

WWF山笑会（さんしょうかい）



WWF山笑会は、国内外の森林を適切に管理し、そこから生産される森林資源の利用を促進する企業・団体のグループです。

適切な森林管理、そして適正な製品の生産・流通・購入を確認する最も有効な手段として、信頼できる森林認証制度（現状ではFSCのみ）を最大限に活用しています。

ホームページ：<http://www.wwfsanshoukai.jp>



監修 FSCジャパン
発行 WWF山笑会
企画 株式会社 市瀬
印刷 株式会社 栄光舎
三菱製紙株式会社 ニューヴァットFSC-MXを使用

チェック
FSCは 森をまもる



©WWF-Canon / Eduardo RUIZ



The mark of responsible forestry FSC-JPN-0007 ©1996 Forest Stewardship Council A.C.

森のめぐみ

私たちは、森から様々なめぐみを受けて暮らしています。
例えば、日本の山に降った雨は長い年月をかけて浄化され湧き水となり、私たちの飲料水や、産業用水などになっています。また、森の土壌は、たくさんの微生物や昆虫などいろいろな動植物の生命を育てています。
人々は昔から、森を上手く利用して狩猟や採集を行い、木を家の材料や燃料として利用してきました。



■ 木材の利用

森のめぐみの一つとして木材があります。私たちは家や家具、文具や紙など、たくさんの木材・紙製品に囲まれています。

図1は、国内の木材需要の内訳を示したものです。木材は主に、家屋に使う製材と、紙に使うパルプ・チップとして利用されています。図2は、日本の木材自給率を示しています。日本は国土の約7割を森で覆われていますが、需要の8割を輸入でまかっています。自給率は2割ほどしかありません。

私たちの目がなかなか届かない海外。そこからたくさんの木材が伐り出されています。それらの木材に目を向けてみる必要があります。

図1

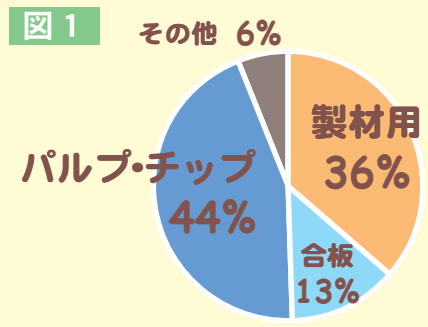
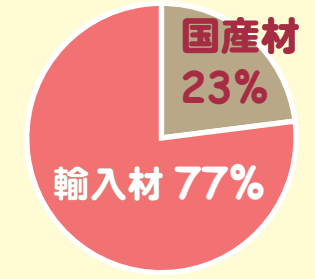


図2



平成19年度林野庁「木材需給表」より作成

森林破壊



©WWF-Canon / Alain COMPOST

■ 過剰な森林の利用

世界に目を向けてみると、多くの森が私たち人間の利用によって、本来の姿を失っています。

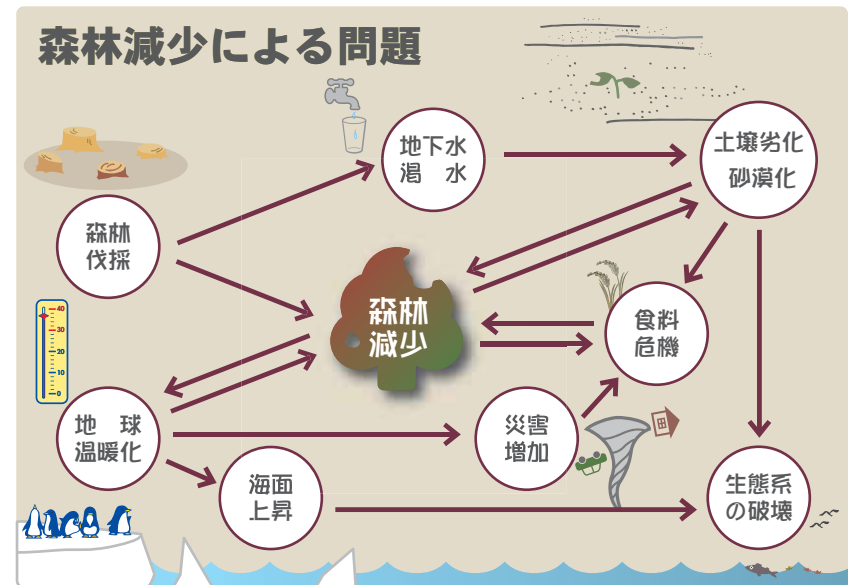
建材や紙の原料にする木材を入手したり、農地をつくるために森を切り拓くケースなどがあります。その中には違法な伐採も含まれていると考えられます。樹齢100年を超える貴重な木が伐採されることも多々あるのです。

長い時間をかけて成長してきた貴重な森が一瞬にして無くなってしまふことにより、様々な影響が懸念されています。

地球上の陸地の約3割を森林が覆っています。2000～2005年の間では、1年間で約1,300万haの森林が失われています。森林破壊は、「森のめぐみ」を失うことです。それは私たちの子孫へ負の遺産を残すことを意味します。



FAO「STATE OF THE WORLD'S FORESTS 2007」より作成



環境省資料より作成



FSC 森林認証制度

なかなか解決されない世界の森林問題へ対応しようと、FSC 森林認証制度が考えられました。この証制度は、「森が適切に管理されているか」を、第三者機関が国際的に統一された基準に沿って審査、認証するものです。違法伐採や保護する価値の高い森林の伐採を防ぐための効果的な仕組みです。

FSC (Forest Stewardship Council : 森林管理協議会) とは…

FSC は会員制の非営利組織で、1993年に誕生しました。2009年6月現在、世界88ヶ国、833の会員で構成されています。その意思決定は会員によってなされます。会員は「経済・社会・環境」、そして「先進国と途上国」の立場の異なるグループに分かれ、それぞれの意見が平等に扱われています。この「利害関係のバランス」と「透明性のあるプロセス」という基本姿勢は、制度の至るところに反映されています。



FSC ロゴマーク











FSC 森林認証制度は、世界中全ての森を対象としています。認証された森に由来する木材・木／紙製品には、独自のロゴマークがつけられます。このロゴマークのついた製品が、世の中に広く流通し、積極的に選ばれるようになると、適切な管理をしている森が増えることにつながります。

これは、森を育てる人から、木／紙製品を製造・販売する会社、そして製品を使う人までが一緒になって、世界の森林を健全にすることで、地球環境を守るという仕組みです。

いつまでも貴重な自然を守り育てるには、適切な管理が必要です。

FSCでは、森が適切に管理されるために、10の原則を守ることが必要だと定めています。

FSC ~10の原則~

-  **法律や国際的な取り決めや、FSCの原則を守っている**
-  **森を所有する権利や利用する権利が明確になっている**
-  **昔から森に暮らす人々（先住民）の伝統的な権利を尊重している**
-  **森の周辺で生活する人や森で働く人に十分な配慮をしている**
-  **豊かな収穫があり、様々な利用がなされ地域からも愛され利用される森である**
-  **多くの生物がすみ豊かな森である**
-  **調査した情報を基に計画を作り、きちんと実行している**
-  **適切に森を管理しているかどうかを定期的にチェックしている**
-  **保護すべき貴重な森を守り育てている**
-  **植林により人工的な森を作るときは十分な配慮をする**



FSC 認証製品

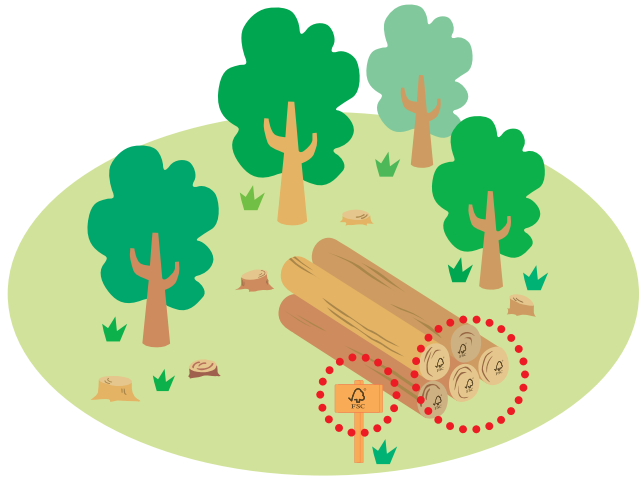
FSC ロゴマークがついた製品ができるまでには、FM（森林管理）認証、そしてCOC（加工・流通）認証を取得した事業者のルートを通らなければなりません。このルールにより、「FSCの森から消費者まで」をつなぐことができます。

FSC 森林認証制度の仕組みは、認証番号の管理によって、ロゴマークを付けた製品が、どこの森で伐り出されて、その後どこで加工され、流通してきたのかの履歴（トレーサビリティ）を確認することができます。



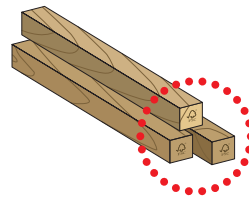
① FM 認証 (Forest Management)

森林管理を対象とした認証です。FSC「10の原則」に基づき、「環境」「社会」「経済」のバランスのとれた管理を実施している森が取得できます。



② COC 認証 (Chain of Custody)

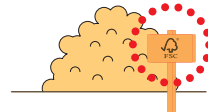
加工・流通を対象とした認証です。認証された森から伐り出された木材が、他の製品と混ざらないような管理をしているか等をチェックします。



製材所



加工所



チップ工場

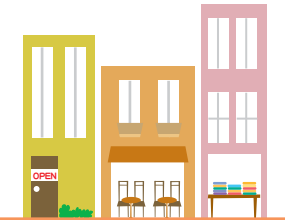


製紙工場・印刷所



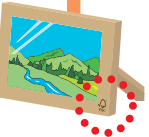
③ 販売店

COC 認証を取得する必要がありません。



④ 消費者

製品は、付いているロゴマークの認証番号で管理されています。





FSCマークの取得方法

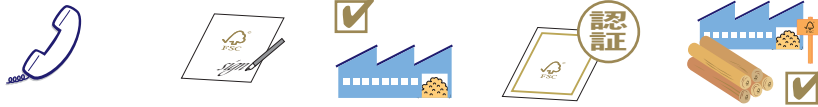
FSCロゴマーク（木のマーク+「FSC」の文字）を使用する際は、次の点に注意が必要です。

FM認証・COC認証を取得する

【対象者：P7で表された①森林管理者および②加工・流通者】

森林管理から加工・流過程において、製品の所有権をもつ場合には認証機関の審査を受け認証を取得する必要があります。

◆ 認証審査の流れ



審査の内容・期間は、認証機関により異なります。詳しくは、下記の認証機関にお問い合わせ下さい。

◆ 認証機関 認証取得者がロゴマーク・文言を使用するにあたり、適切な指導・監督をします。

アマタ株式会社 環境認証研究所

〒102-0075 東京都千代田区三番町28番地
☎ 03-5215-8326 (ダイヤルイン) E-mail: ninsho@amita-net.co.jp

SGSジャパン株式会社 森林認証部

〒220-8138 横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー38階
☎ 045-330-5047 E-mail: jpforest@sgs.com

株式会社 Control Union Japan

〒105-0003 東京都港区西新橋3-19-14 東京建硝ビル7階
☎ 03-6659-4750 E-mail: mkt@controlunion.jp

スマートウッド日本リプレゼンタティブ

〒136-0074 東京都江東区東砂7-18-10-301
☎ 03-6416-0500 E-mail: shizukayasui@gmail.com

認証機関は世界に22箇所あり、日本では4社で認証業務を行っています。(2009年8月現在)

IDを取得する

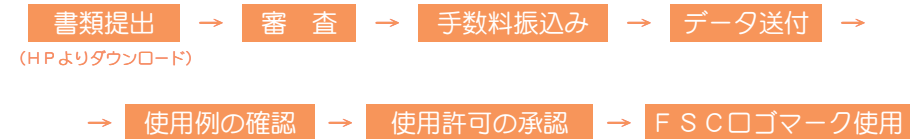
【対象者：P8で表された③小売および④消費者】

ID監督機関の指導・許可を受けてオリジナルIDを持つことで、FSCが推進する森林保全のメッセンジャーになれます。

例えばこんな場合はIDが必要です・・・



◆ ID使用までの流れ



◆ ID発行機関

FSCジャパン (NPO法人 日本森林管理協議会内)

FSC公式ロゴマーク担当 E-mail: fsc-info@forsta.co.jp
IDに関する詳細は FSCジャパン HPをご覧ください
URL: <http://www.forsta.or.jp/fsc>



©1996 Forest Stewardship Council A.C. FSC-SECR-0117

FSCのマークは信頼のシルシ。
マークを正しく使うことが、適切な森林管理に
責任を持って取り組んでいるアカシです。



FSCの広がり

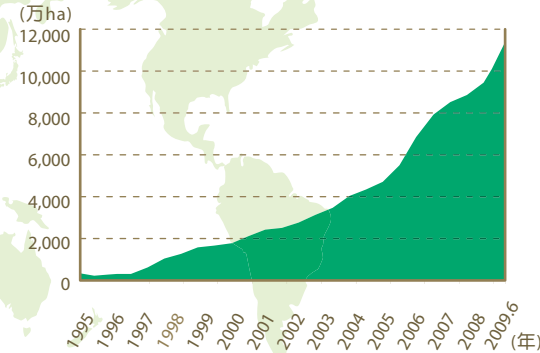
世界の認証状況

2008年4月、F M認証林は、1億haを超えました。これは、日本の国土面積の約2.7倍にあたります。F M・C O C認証合わせて世界96カ国に普及しています。

F M認証を取得した森林
世界：82カ国
件数：977件
面積：114,408,742ha

2009年6月現在

◆世界のF S C認証林の面積



FSCウェブサイト (<http://www.fsc.org>) より作成

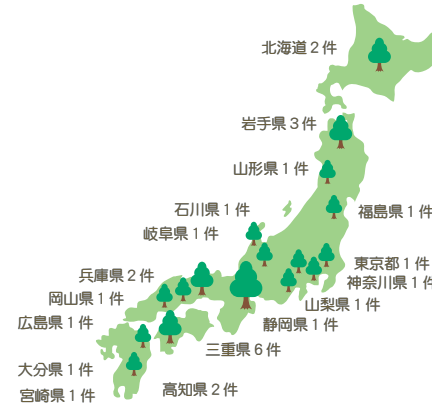
日本の認証状況

国内のC O C認証取得件数は、世界第3位になっています。

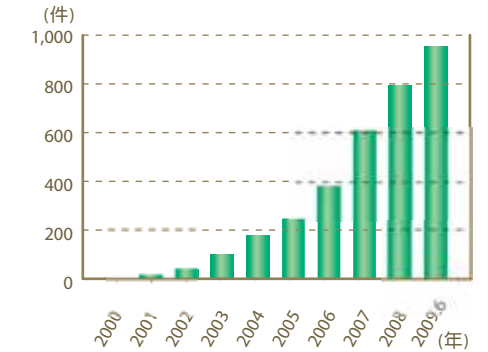
F M認証取得件数：27件
面積：282,982ha
C O C認証取得件数：953件

2009年6月現在

◆日本のF M認証林の件数



◆日本のC O C認証取得の件数



Forsta (<http://www.forsta.or.jp>) より作成

F M認証取得者の声



吉田本家山林部
代表 吉田 正木

人類が生きてゆくには資源が必要です。温暖化をはじめとする地球環境問題や、資源の問題について考えると再生産可能な木材資源を上手に使ってゆくことが鍵となるでしょう。しかし木材を生産するために世界中の森林が荒廃したことも事実です。F S C森林認証制度はこの問題に対処できる方法の一つであり、私は森林管理を行う上でこの制度に賛同しています。

C O C認証取得者の声



株式会社 山櫻
(紙製品メーカー)
曽根 雅明

弊社は、紙製品の製造・販売に当り環境への配慮として古紙を積極的に使用してまいりましたが、近年は環境配慮と同時に印刷適性の良い製品を望む声が高くなってきております。これを踏まえ、森林保護のために管理されたバージンパルプのF S C認証紙に注目し、2006年夏からその製品化を進めてまいりました。今後もF S C認証紙と古紙のバランスを考慮し「高い環境性と品質」を同時に満たす製品作りを行っていく方針です。

消費者の声



郡山市 環境衛生部 環境保全課

平成16年、郡山市は全国の地方自治体として初めてF S C森林認証紙の利用を調達方針に明記しました。当時、F S Cの「森を守りながら木材を利用する取り組み」という理念を、紙という最も身近な林産物で市民の方々にも知ってもらおうと、再生紙と共に環境配慮の紙として推進していくことにいたしました。この選択が、事業者の方々への環境配慮の取り組みへの一つのきっかけになればと思います。

消費者の声



奥山 清美

違法伐採や乱伐を防いで森を守るために、私は何が出来るのだろうかと考え続けていたところ、F S C森林認証制度に出会いました。F S Cのラベリングされた製品を選択・購入することが、日本にしながら森を守るために出来るの行動だと知りました。それ以来、コピー用紙やノートはF S Cを使っています。友人にF S Cの写真立てやコースターを送ったり「マイ箸」を持ち歩いたりしてアピールしています。



FSCの商品

生活のあらゆるシーンで安心のFSC認証製品を選択できるように、様々な製品が登場しています。



FSC認証製品の生活雑貨の数々



ペッパーミル



トレイ・スプーン



名刺・ペンスタンド



キャンパスノート



コピー用紙



封筒&名刺



ボールペン&ペンスタンド



ペーパースタンド



カッティングボード



ひのき柱材



テーブルセット